

## 平成 24 年度 宮城県仙台二華中学校・高等学校 学校評価の調査結果

今年度も学校評価を実施いたしました。その結果がまとまりましたので、概要をご報告いたします。

### 学校評価の目的

目的は、「学校の責務達成に向けて、自校の特色や児童生徒の成長の様子を確認しながら、学校としての機能をどの程度果たしているか、そのプロセスと結果について教職員・児童生徒・保護者・地域の人々による総合的な点検・評価を実施し、学校運営や教育活動の改善の手がかりとする」（「学校の評価システムの確立に関する調査研究 第二次報告書」宮城県教育委員会、平成 16 年 3 月）となっています。

### 本校の学校評価の内容

- 実施時期：平成 24 年 10 月～平成 25 年 1 月
- 調査対象：中学校 1～3 年生，高校 1～3 年生，中高保護者，教職員
- 調査項目：選択式項目と自由記述式項目
- 調査内容：選択式項目～4 件法（「そう思う」「大体そう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」）で実施。宮城県教育委員会が指定する項目，生徒・保護者・教職員の共通項目，そして学年ごとに異なる項目で構成。  
自由記述 ～各学年それぞれ自由記述欄が設けられています。

### 調査の結果

○選択式項目の結果（4 件法による平均）

- ・生徒全体「疑問や質問に対する丁寧な指導」の平均値が高い。
- ・中学生徒「深く学べるのが中高一貫のメリット」の平均値が高い。
- ・高校生徒「部活動は活発に行われている」の平均値が高い。

全体的に、学校生活に関する項目の平均値が高く、生徒の学校生活が充実している様子が伺えます。特に、高校 3 年生の学校生活に関する項目は、他の学年と比べても相対的に平均値が高くなっており、高校 3 年間で、受験に向けた意識の向上や学校生活全体へ満足度の向上がみられ、充実した学校行事や部活動、友人関係、学習指導など生徒を満足させる学校の取組の積み上げがこの結果につながっていることが考えられます。

- ・保護者全体「学校生活は充実している」、「有意義な学校行事がある」の平均値が高い。
- ・中学保護者「総合的な学習の時間は学習意欲や進路意識を高めている」の平均値が高い。
- ・高校保護者「部活動が活発に行われている」の平均値が高い。

全体的に、保護者も子どもの学校生活に関して満足度が高く、追跡調査からもその高い満足感を維持し続けている様子が見えます。